

小樽

## 北海製缶倉庫の活用検討

### オール小樽で知恵結集

小樽商工会議所（北海道）は、観光協会と

共に、老朽化が進み解体が検討されている「北海製缶小樽工場第3倉庫」の保全活用を検討している。

小樽運河沿いにある同倉庫は、小樽運河と同時期の1924年に建築された市指定の歴史的建造物。長く運河の景観にも貢献し、建築物としても景観上の

価値は高い。

1月14日には、同所が組織の事務局を務める「第3倉庫活用ミーティング」が発足。市民意識の醸成を図り広くアイデアを募りながら、民間側から保全活

用の方向性を取りまとめ小樽市に提案することを目的としている。組織の軸となるコー

「民間活用としてのプ

ラン」「行政に多額の負担をさせない」「現状の土地利用規制にはこだわらない」「実現性のある案をまとめ、事業手法も併せて提案する」の5点を踏まえて検討していく。

3月には、市民を対象とした「オープン勉強会」を開催し、多くの市民と意見交換する機会をつくる。当日来

保全が望まれる北海製缶第3倉庫



イブ配信も行う。

同所の山崎久さんは、「市民や観光客に愛され、新たな息吹を吹き込む小樽のランドマークに生まれ変わるよう、オール小樽で保全・活用プランを考え

場できない人向けにYoutubeなどで伝えていきたい」と期待を込める。